

安城の畜産を知ろう！



ちくさん
畜産

とは、牛・豚・鶏などの動物を飼育し、生活に必要な食材、物資を得る産業のことをいいます。
安城市は、昭和32年に畜産日本一として農林大臣賞を受賞するほど畜産が盛んな地域でした。
現在でも市内各地で畜産が営まれています。



安城産のおいしい
畜産物をいっぱい
食べよう！

環境と安全に配慮して飼育されています

《環境美化に対する取り組み》

- 消臭剤の使用による畜産経営に起因する悪臭の防止
- 畜産排せつ物の適切な管理と堆肥などへの利用促進

《安全安心に対する取り組み》

- トレーサビリティに関する管理方法の充実
- 信頼できる飼料での飼育
- 家畜疾病の監視

※生産・加工及び流通の特定の1つ又は複数の段階を通じて食品の移動を把握すること。



衛生的な畜舎

安城で飼育されている家畜



肉牛



850kgぐらいまで成長するよ

安城では、昭和40年頃から肉牛の飼育がはじまったといわれています。安城で育てられているのは主に黒毛和種で、多くは「安城和牛」として売られています。全国区の和牛ブランド牛肉に引けを取らないおいしさと希少価値から、幻の「安城和牛」と呼ばれることもあります。

乳牛



牛乳にはカルシウムがいっぱい

安城では、ホルスタイン種の乳牛から毎日おいしい牛乳が搾乳されています。1頭の乳牛からは、毎日30ℓ程度の牛乳が搾乳されます。安城市酪農組合を結成し、安全・安心な牛乳の生産に取り組んでいます。

豚



とってもデリケートなんだ

安城では、繁殖から出荷までを1軒の農家で行う一貫経営が行われています。生後180日程度、体重約110kgに成長するまで飼育されます。安城では3品種をかけ合わせた三元豚（三元交配豚）が主に飼育されています。

鶏



とさかが小さいのがメスで卵を産むよ

安城を中心とする碧海郡一帯は日本デンマークと呼ばれ、多角的農業が行われていた大正10年頃から養鶏が盛んでした。養鶏には採卵鶏と食用のブロイラーがあり、現在の安城では採卵鶏を中心に飼育されています。